

投稿原稿をお待ちしています。テーマ・文字数自由でお気軽にどうぞ

なかとう句会(103) < 梅雨開け >

梅雨開けに ふたつめ開ける 胸ボタン【狸の意味深翁】

その胸が ツンとおすまし めざめ夏  
原色の 海のおとずれ 肌鼓動  
シーフード 今夜はカレー 夏来たり  
ひんやりと フルーツマトの その滴  
大ジョッキ 女三人 手に軽き  
ピヤガーデン なぜに懐かし 定年後

金刀比羅社 清洲深川 森下町 【シグ子】

朝顔市と パン屋 キラキラ  
イギリスパンを子どもの頃買いに行った新大  
橋 2 丁目に店舗だけが、小さく残っていました。感謝!!  
(ハイキング部会 深川歩きに参加して)  
梅雨明けの 肌サラサラと 闊歩する  
梅雨明けや 小路(こみち)の草の 日の匂ひ  
卵の花の 匂う垣根や ほととぎす

アジサイも 多国籍なり 豊島園 【伊楽】

アジサイが 巾をかかせる 梅雨どき  
豊島園のあじさい祭りにて  
ポスター顔 ほほえむ自民に 真顔の民主  
剥がれたか 剥がされたのか 路上のポスター  
選挙間近で

感激の立ち歩きなかなかプレイないなあ 【兎鳥】

キライはキライ スキはスキ 気の強いのは誰に似た  
どんとこいもう慣れたぞ二人目の孫  
孫姫は 14 か月

夢魂川柳・手前の太道 (53) 【家元 ひがし】

立往生しないで往生する蹉跎  
腹話術出来る政治家いなくなり  
おっぱいが二段じゃなくて おなかなの?!  
助け合い 蜜柑は腐るが 愛はもつ  
客帰り二階から何故か物下がり  
幸せも不幸せも忍び足  
専用車 ホームでながめる動物園  
人滅び地球そのもの世界遺産  
どんぐりをポッケに入れてママの顔  
百才迄ボケずに生きてらチョー孤独

今月の投句コーナー < 秀句 > 柳辰太郎様

師が拭う 順を違えた 涙雨  
詠み手の人間性も感じさせ、多様な解釈を可能にさせる  
懐の深さのある秀句

ペアディナーコンサート「カンツォーネの王様・東直彦  
と共に」

43 組のお客様に、旨いワイン等の呑み放題と美味しい地  
中海料理と私のカンツォーネを、ご友人やご家族の方々と  
楽しんでいただきたく、下記コンサートを開きます。  
5月ナポリでの3日間の公演の成果も聞いていただきたいの  
です。メール又は TEL にて御申しただけえれば、チケット  
とチラシをお送りします。

日時：9月5日(土) 17:30 開場 18:00 開演

場所：ライブハウス リストランテ 六本木サテン  
ドール(港区六本木4-11-5 六本木ビルアネックス4F)  
地中海料理+フリードリンク チケット1組2名様 17,000円

家元 東柳(東直彦:東総合設計事務所)

連絡先掲載サイト<http://www.higaship.com>

海外旅行の変わった話(89)< 敦煌での歓迎会 > 【市川孝  
二】

日経カルチャー社は HP や旅行の案内の中で、我が社は  
「敦煌研究院」と特別な関係を保っています...と宣伝して  
います。その通り一回目も、二回目も先方の会議室で事前  
の講義をしてくれました。二回目は東山先生が引率したた  
めか、敦煌研究院主催の招宴もありました。前回はありま  
せん。明日蘭州経由で西安に行く敦煌最終日の夜のことで  
した。

先生から私と慶応大学の名誉教授の二人に「背広・ネク  
タイ着用してね...」と言われました。何故かこの時名誉教  
授は忘れて(?)しまいました。一回目はコンナ招宴は無  
かったので、先生の言うことは良く理解できませんでした。  
正直者の私は東山先生に言われた通りに、背広・ネクタイ  
着用でした。私はメインテーブルで東山先生の隣に座りま  
した。忘れた名誉教授はご一緒の奥さんと他の二つの仲間  
のテーブルに座りました。

三人のお偉いさんが来られました。敦煌研究院の副院長  
(今まで敦煌市長だった人)と幹部の方たちです。昔々に  
放映した NHK の「シルクロード」《喜多郎(?)のあの音楽》  
の中で作家・井上靖さんとこの所の長さんが対面する映像  
を見たことがありました。この時の所長はかなり著名な学  
者でした(記憶が正しければ...)。現在の所長は(名誉職

で)北京にいたるとか聞きました。

背広・ネクタイ着用は日経カルチャー社・旅行団一行を代表して、答礼の「言葉」を言って欲しいからだ、東山先生は言います。今までワインその他をご馳走になっているので引き受けました。その場で言うのでした。名誉教授に断られて市川にこの役目が廻ってきたのかも。

先方の歓迎の辞のあと先生に促されて、「お礼の言葉」をぶちました。コンナ体験は初めてです。緊張しました。そういう設定になっていたのです。

「日頃から憧れていた敦煌に来られた。嬉しい・感激している。研究院当局の石窟保全のご苦労なども判りました…」などを「長くもなく、短くもなく」「演説」しました。緊張して「あがること」もなく、東山先生の期待に答えました。中国人の通訳(女の人)が私の言葉を「おえらいさん達」に通訳します。通訳の言葉に三人は頷きます。

その前の年だったか、NHKは「敦煌の現地特集」をやったことがありました。この時の研究院・職員の通訳が、この人だと直ぐに判りました。私の日本語を中国語に訳し終えた頃に、続きの話をしました。今まで西ドイツとかアメリカで調査団の一員として二回位こんな立場になったことはありました。私用の旅行で「演説した」のは初めてです。他の仲間のテーブルは中国料理を味わいながら、小声で話しています。このメインテーブルでは「味わた」実感は有りません。慶応大学の名誉教授はコレを知っていて、わざと軽装になったのかも。

メインテーブルで緊張したと言っても、お腹は空きます。研究院おえらいさんの話を聴かなくてはならず、お互いに対話もします。皿に取った料理は「骨付き」で食べにくく困ったことを強く記憶しています。変わった体験でした。

執筆者 HP<サラリーマンのための年金コーナー>に「市川の旅の記録」を掲載中

<http://homepage3.nifty.com/ichikawa/>

#### 田舎暮らし(78) < 田圃の付く地名 > 【中野信吾】

前二回は住んでいるところの小字名について触れてきた。長い間、何の疑いもなくそのまま使われてきたので踏襲してきたのだが、付けられている地名の由来を知るとなるほどということばかりで、戸外の「歩き」に楽しさが増してきた。よく知られている小字名を若干挙げてみよう。

現在居住しているところが、平地と山地の境目である。したがって山の尾根が平地に接する所で谷間になっている場所で「くぼ」といわれている所が多い。東京の荻窪や大久保は、周囲より低くくぼんだ所。地下水が容易に得

られる所でもある。地形に由来されて言われてきたのは周知のことである。水が得られれば農業として田圃が開発される。おおむね低い所にある田は、「くぼ田」になる。これよりやや高いところにある田圃は、「高田」になる。高いは収穫の多いを意味することも考えられる。

また、和田という所がある。和田は「わぐ」とか「わご」の意で、地形が湾曲している所を指す。田舎にある和田は、小高い丘が両サイドから繰り出して奥が深く湾曲になった所を指している。そこは粘土質の田圃で採れる米は粘り気があってうまい。収穫量も多く昔から上田だった。東京の杉並・和田もこんなところだったのか。田を開く場合でも形が丸味を持つので、「輪田(わだ)」「曲田(わだ)」の字があてられた。さらに十七条憲法の「和を以て貴しとなせ」の用例から「和」があちこちで用いられたともいわれている。この和田が海岸沿いでは海神(わだつみ)信仰につながっている(大輪田泊・和田岬)。田地などが開発されたとき形状が丸味を持つものに対比して、四角ばった形を持つ田圃は枡の形に似ているので「増」「益」の字を当てたものだといわれる。これも増加=増えるにつながるからだろう。

田畑の開発が進むにつれて自宅より遠く離れて土地を持つ人も増えてくる。耕作者が自宅の近くに居れば「村居」(=村井)、離れた地(田)に居れば田居(=田井)となる。そこに一時的に田圃のそばに屋(=舎)を造って住めば田井よりも「田中」にした方が分かりやすい。田の中の舎(いえ)が「いなか=田舎」になってきた。さしずめ本拠地から遠く離れた所をいうようになってきた始まりだろう。

もう一つ疑問に思っていたことがある。海がないのに「沖の入り」という小字名が付けられている所がある。これはその場所が集落から遠く離れている所でも田畑が開けている場所(沖)をいう。その入り口という意味だという。「入り」は山間の入り込んだ所。似たような例で、海のない県にもかかわらず海尻とか海ノ口のように命名されている所も、その成立由来を知れば理解できる。

小字名などは地図上ではあまりお目にかからない。地籍図や古い土地台帳などから検索するより他にない。「田」については数多い。地形、耕地、栽培作物による、方向、立地、歴史的なものなどから知る手法は多様だ。今回はその一端を紹介してみた。

参考文献 『地名の由来を知る事典』 武光 誠 東京堂出版  
海尻 海ノ口

<http://www1.ocn.ne.jp/~oomi/yomono5.html>

辛口コラム(42) <「鳩山献金疑惑」、喉に刺さったトゲ = 民主、「細川退陣」の二の舞を懸念 => 【増山榮太郎】

「今、選挙になれば民主党の単独過半数は固い」と同党選対関係者は自信満々だ。マスコミ各社の選挙予測もそれを裏付ける数字を弾き出している。だが同党幹部の顔色は冴えない。鳩山由紀夫党代表の「政治資金収支報告書」をめぐる虚偽記載の疑惑だ。自民党は起死回生とばかり国会での徹底追及はもちろん世論にも訴えかけている。このネガティブ・キャンペーンが意外に効果を上げている。(敬称略)

「政権交代」ムード一色だが・・・

「いやあ、驚きましたた。全国どこの選挙区を回っても今や、『政権交代』ムード一色です。それも自民党の有力有力支援者から『ともかく民主党にいつべん(政権を)とらせたい』と言うのです。こんなことは初めてです」

民主党選対関係者は興奮気味に語る。彼によると、北海道、東北、関東、北陸、東海で民主優勢。これまで自民優勢の中国、四国、九州でも追い上げている。首都圏、近畿圏はイマイチだが、静岡知事選、都議選の余勢を駆ってこれから追い上げると意気軒昂だ。同党は衆院選の目標として地方区300のうち150議席、比例代表180のうち90議席の数値を掲げたが、同氏は「達成可能」と自信満々だ。直近の党独自世論調査でもこれを上回る数字が出たが、公表すると候補者の志気が緩むので「部外秘」にしたという。

ある有力マスコミ(編集注意=共同通信の選挙デスクの話。ただし、ソースはオフレコ)の選挙予測でも、自民140~150、民主250~270という数字を出している。仮に連立与党・公明党が現有31議席を確保しても過半数(241議席)割れの公算大だ。念願の「政権交代」が視野に入ったも同然だ。

自民、疑惑追及に全力

だが、ここへきて降って湧いたような鳩山代表の献金疑惑だ。自民党は「チャンス到来」(町村信孝前官房長官)とばかりプロジェクト・チーム(PT)を立ち上げ徹底追及の構えだ。解散時期を遅らせても国会での鳩山代表の参考人招致、あるいは証人喚問を求め、さらに街頭演説などを通じて世論に訴え始めた。鳩山代表は、自らの釈明記者会見で「説明責任は果たした」として国会での参考人招致などには一切応じない方針だ。それにしても、多額の個人献金を死んだ人の名前にしたり、実際献金しない人の名前を借用したり、余りにも不自然である。自民党筋から「マネーロンダリング」「相続税隠し」など怪情報も流れている。

事実、最近の世論調査でも鳩山代表の説明に対して78.3%の人が「納得できない」(共同通信7月5日配信)と回答している。また、低落した麻生内閣の支持率がここへきて下げ止まり、あるいは反転上昇の気配を示している。これらが全て自民党のネガティブ・キャンペーンの効果とは言えないまでも、民主党にとって気になるところだ。例えば岡田克也同党幹事長は「(鳩山代表は)もっと伝える努力をすべきだ」(7月4日、富山市)と暗に説明責任の不十分さを批判している。だが、党全体の空気としては「説明責任は十分果たした」と国会での参考人招致などには応じず、このまま逃げ切る作戦だ。

仮にこのまま逃げ切り、衆院選で目出度く「鳩山政権」が誕生しても「献金疑惑」が鳩山代表にとって「喉に刺さったトゲ」であることに変わりない。むしろ状況は一層悪くなる。時の総理大臣は、衆参本会議、さらに予算委員会など各委員会では答弁席に立たなければならないからだ。従って、野党の追及から逃げ切れないのだ。

ここで想起されるのは、細川権時代、細川首相に関わる佐川急便からの1億円借り入れをめぐる疑惑で、当時野党の自民党は衆参予算委員会を中心に執拗に追及した。細川首相はこの追及にたまりかね10カ月で政権を放り出した。「あの二の舞にならなければよいが」と同党幹部の懸念は深まるばかりだ。(執筆者・増山榮太郎=時事通信『金融財政ビジネス』誌より転載)

『増さんの政治教室』

<http://www33.ocn.ne.jp/~massan/>

エタ・コンピューターアリス <9.番外編バック・トゥーザ・フューチャー2「メットカーフの法則」> 【望月益男】

そろそろ原稿の締切だというのに、2029年から未だにメールが届いていない。こちらからは連絡の仕様がなくて、待つしかないのだが、そうこうしている中に目にした最新の岩波新書「デジタル社会はなぜ生きにくいのか」で、徳田雄洋氏は次のように言っている。

「一体、どうしてこんな生きにくいデジタル社会が出来上がってしまったのだろうか。携帯電話はますます高機能・多機能となり、その操作方法を覚えるだけでも容易ではない。公共機関のコンピューターは、しばしばシステム障害や情報の流失・喪失を起こし、そのたびに私たちはじっと我慢させられる。銀行のATMコーナーでは、高齢者を振り込め詐欺から守るために、厳戒体制がとられている。...中略...国内の有名な雑誌や海外の伝統ある新聞が、インターネットの影響で、次々と休刊に追い込まれている」とし、その対応心構えとして、次の6項目を上げている。

半分信用し、半分信用しない。

必要な知識や情報を得て、自分を守り、他人の立場を尊重する。

自分ですることの境界線を定める。

利用することと利用しないことの境界線を定める。

危険を分散し、代替の方法をもつ。

依存しすぎない。

これからデジタル社会を生きていくための、示唆に富んだ提言といえる。

思えば、ここ 2~30 年のデジタル社会の目覚ましい進歩の恩恵を我々は充分享受してきた。特に、ネットワークの発展の恩恵は大きいのだが、1995 年、「メットカーフの法則」は「ネットワークの価値は、接続する利用者数の二乗に比例して高まる。但し、利用者の急増に技術進歩や通信網の整備が追いつかず、ネットは 1996 年度中に破綻する」と予言した。これを読まれている 2009 年の読者は、自らの経験から、現実はまだこの予言を覆してきたことを知っている。予言者のメットカーフ氏は「外れたらこの論文を食べてみせる」と豪語したため、約束どおり論文を印刷した紙を食べたという。

筆者自身も、スイカによる切符、雑誌類の購入、Amazon での書籍(特に洋書)の購入、Google での調べものとか、イベント情報の確認(中野稲門会など)、自宅からの銀行送金手続、携帯電話での地デジの視聴、iPod での音楽等の幾多のデジタル社会の恩恵を、しかもリーズナブルなコストで享受している。

一方、マイナス面も確かに実感している。自動車が普及し、交通事故、大気汚染、温暖化、身体的退歩・・・等の現象が生じたと同じことが起きているようだ。

デジタル社会のマイナス現象を幾つか上げてみよう。先ず、デジタル情報はモニターで読み、メモリー等のメディアに保存されることから、人類文明の発展を支えてきた「紙」がジワジワと役割を退いてきている。

本がジワジワと売れなくなってきているようだし、宅配される紙の新聞も果たして生き残れるのか。かかる現象は、確かに、省資源にはなるのかもしれないが。我家には、祖父の若い時代の写真が今も残っているけれど、デジカメ時代の末裔の子孫たちが、将来、我々の今の写真を見ることがあるのか・・・と心配してしまう。

また、紙と密接な関係のある「文字」も、デジタル社会に依存して生きる我々は、少なくとも「書けなく」なっているのは間違いない。言語能力とか、歩行能力、方向感覚とか、人間のプリミティブな基礎能力は、進歩に依存しすぎることで、着実に退化しているように思える。そ

のため、歩くことが主たる目的となった「ウォーキング」とともに、書くための「ライティング」が着目されてくるかもしれない。

もう一つ、セキュリティがやはり心配だ。米韓、官庁サイトへのサイバー攻撃が、問題になっているが、システムが高度化し、便利になればなるほど、システム障害の被害の規模と程度は深刻化してきている。また個人レベルでも、毎日の生活で、セキュリティがますます重要になってきている。その方法としての「暗証」は悪用されないために、設定する暗証は「単純なものは避け、且つ分散しろ」と言われるのだが、この管理が大変だし、筆者のような、ずぼらな年寄りには荷が重い。実は、暗証を書きとめた手帳が最近、見当らない。困ったものである。

恐らく、2029 年は、デジタル社会の進歩の光と影が「斑模様」になっているのではないかと思う。「メットカーフの法則」は相変わらず変わらず、技術はますます進歩はしているが、その影はますます濃くなり、結局、「半分信用し、半分信用しない」という「便利だけと生きにくい社会」と、ますます、なっているのではないだろうか。特に、「年配者にとってはますます生きにくい社会」となっているのは、間違いないように予想される。

幸、この予想が外れても、これはデジタルのメルマガに掲載されているので、筆者が責任を取って、紙を食べることにはならないようだ。(つづく)

[編者注] 文末三行について、7/21 に差し替えを行いました

今月のへえー(77)<ご当地ニュース>【いとう】

東京・中野の寺で火事、本尊焼失は免れる

9日午前5時30分頃、東京都中野区南台3、宝福寺の観音堂から火が出ていると119番があった。火は約一時間後に消し止められたが、木造平屋建て同建物約50平方メートルのうち約30平方メートルを焼いた。けが人はなかった。警視庁中野署で出火原因を調べている... (読売新聞 - 2009年7月8日)

東京・中野区職員無断欠勤中給与訴訟：区長への返還命令確定

東京都中野区が無断欠勤していた区職員(故人)に給与を支払ったのは違法として、区民が田中大輔区長に給与の一部82万円余の返還を求めた住民訴訟で、最高裁第2小法廷(古田佑紀裁判長)は10日、区長の上告を退ける決定を出した。区長に請求通り返還するよう命じた... (毎日新聞 - 2009年7月10日)

大成で留学生宿舍解体/警大跡地にキャンパス整備/明治大学

明治大学(東京都千代田区)が、東京都中野区の警察大学校跡地に計画している中野キャンパス(仮称)の整備で、敷地内に立地している留学生宿舍の解体工事を大成建設が担当することが明らかになった。工期は、7月末から9月末まで...(日刊建設通信新聞 -2009年7月16日)

風車で電力賄う/常陸太田に3基

常陸太田市と交流事業で連携する東京都中野区が、CO2削減の切り札として風力発電で実績のある同市里美地区に区民風車3基の建設を検討している。現在は調査段階だが、関係者によると設置の可能性は十分。風力発電で区役所本庁舎が消費する約3倍を発電できるため、間接...(朝日新聞 - 2009年6月29日)

図書返却箱の設置のお知らせ

中野区立図書館では、利用者の利便性を高めるため、「JR中野駅南口の券売機横」と「中野区役所正面玄関前」に図書返却箱を設置しました。ご利用ください。(中野区広報)

キャンパスにおける主な催し~[公開講演会・行事]ページより転載

<http://www.waseda.jp/jp/event/> に他情報もあります

企画展示「やぶれ船で流浪する水夫たち 水族館劇場 20年の航跡」

【日時】Part1 2009/3/1(日)~2009/8/3(月)

【会場】Part1 坪内博士記念演劇博物館 3階「現代」コーナー

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・直接会場へ

【問合せ】早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

【URL】<http://www.waseda.jp/enpaku/special/2009suizokukan.html>

講演会「2007年スイス臓器移植法-法的・実践的パースペクティブ-」

講師：クリスチャン・シュワルツェネッガー氏(チューリッヒ大学法学部教授)

通訳：甲斐 克則氏(本学大学院法務研究科教授)

【日時】2009/07/21(火) 14:00~16:00

【会場】早稲田キャンパス 8号館 3階大会議室

【対象】学生・大学院生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・直接会場へ

【問合せ】主催：早稲田大学比較法研究所

共催：早稲田大学グローバルCOE医事法グループ

【URL】[http://www.waseda.jp/hiken/jp/lec\\_symp/index.html](http://www.waseda.jp/hiken/jp/lec_symp/index.html)

月表面における放射線防護と遮蔽(1)基礎編<7/21(火)>

月表面における放射線防護と遮蔽(2)応用編<7/22(水)>

講師：中村尚司氏(東北大学名誉教授)

【日時】2009/07/21(火)~22(水) 14:00~17:00

【会場】21日：西早稲田キャンパス 55号館 S棟 407

22日：西早稲田キャンパス 55号館 S棟 410

【対象】大学院生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・直接会場へ

【主催】早稲田大学理工学術院総合研究所

講演会「Motivation and Peak Learning Experiences: Insights for Foreign Language Learning and Teaching」

講師：松本浩史氏(SOKA University of America 准教授)

【日時】2009/07/22(水) 18:15~19:45

【会場】早稲田キャンパス 16号館 309号室

【対象】学生・大学院生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・直接会場へ

【問合せ】早稲田大学教育学部

【URL】<http://www.f.waseda.jp/tharada/talk1.htm>

講演会「外国語学習の科学:学習者は過去形と進行形をどのように習得するか」

講師：白井恭弘氏(ピッツバーグ大学教授(言語学))

【日時】2009/07/23(木) 16:30~18:00

【会場】早稲田キャンパス 16号館 411号室

【対象】学生・大学院生・一般・その他(教員)

【参加方法】入場無料・直接会場へ

【問合せ】早稲田大学教育学部

比較法研究所プロジェクト連続講演会第5回

「R.チマーマンの比較法学とローマ法学」

講師：小川浩三氏(桐蔭横浜大学法学部教授)

【日時】2009/07/24(金) 18:00~20:00

【会場】早稲田キャンパス 27号館地下2階 小野記念講堂

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・直接会場へ

【問合せ】早稲田大学比較法研究所

【URL】[http://www.waseda.jp/hiken/jp/research/project\\_summary/project2008\\_1.html](http://www.waseda.jp/hiken/jp/research/project_summary/project2008_1.html)

#### J-School シンポジウム

ジャーナリズムの危機～アメリカ・メディアの現状と新聞の未来～

問題提起:立命館大学准教授(元テレビ朝日報道局)奥村信幸氏、東京工芸大専任講師 茂木崇氏

コメント:毎日新聞社外信部長(前北米総局長)坂東賢治氏、早稲田大学(政治学研究科 MAJESTY)小林宏一教授

【日時】2009/07/25(土) 14:00～17:00

【会場】大隈小講堂

【対象】学生・大学院生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・事前申込み 申込み詳細はご参考 URL をご覧下さい。

【問合せ】早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズム・コース

【URL】<http://www.waseda-j.jp/07-ev.cgi>

#### ゴダールシンポジウム～全く新しいゴダール～

第一部「ゴダールと音楽」

講師：桜井圭介氏、大谷能生氏

第二部「ゴダール。その都市性と空間性と。」

講師：宮沢章夫氏、佐々木敦氏

【日時】2009/07/25(土) 16:45～20:00

【会場】小野記念講堂(早稲田キャンパス 27号館地下2階)

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・直接会場へ(定員:約210名)

【問合せ】早稲田大学文化構想学部表象メディア論系

#### アジア太平洋研究科オープンスクール

【日時】2009/07/26(日) 13:00～16:00

【会場】早稲田大学西早稲田ビル(早稲田キャンパス 19号館)7階

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・事前申込み(定員100名) 申込み詳細はご参考 URL をご覧下さい。

【問合せ】早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

【URL】[http://www.waseda.jp/gsaps/news/news\\_090618.html](http://www.waseda.jp/gsaps/news/news_090618.html)

#### 消費者金融サービス研究所 第10回公開シンポジウム

「格差社会と中小・零細企業金融 Part2」

【日時】2009/07/29(水) 16:00～18:00

【会場】小野記念講堂(早稲田キャンパス 27号館地下2階)

【対象】学生・教職員・一般

【参加方法】入場無料・ご参考 URL から申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上

ファクスで申し込み 定員:200名(定員になり次第締め切り) 入場整理券をお送りします

【問合せ】早稲田大学消費者金融サービス研究所リエゾン・オフィス

【URL】<http://www.waseda.jp/prj-ircfs/symposium.html>

事務局からお知らせ

配信数 118

お待たせ会報夏号『さざんかの道』は7月25日に発行・郵送開始予定です。お楽しみにお待ちください。

会ブログ <http://wnakano.blog76.fc2.com/> には各部会の開催予定などを掲載していますので、お試し・飛び入りなど大歓迎。新入会員さんや、まだ部会未参加の方はぜひお気軽にご参加ください。

題自由(趣味のこと、この頃気になること、面白情報...)のご寄稿を気軽にどうぞ。ご意見もお寄せいただければ幸いです。次号は2009年8月20日配信予定(前日に原稿)

また本メルマガ・会ホームページ編集に協力いただける方も募集中です。PC力アップに最適です!

投稿、お問合せ

<http://form1.fc2.com/form/?id=119778>

過去の全メルマガ <http://wnakano.blog76.fc2.com/blog-category-8.html>

配信の登録停止・メールアドレス変更

<http://wnakano.moo.jp/guide.html>

メルマガ担当【いとう】